

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6249 URL <https://www.gamecard-joyco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蒔田 穂高  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート管理部担当 (氏名) 原 明彦 (TEL) 03-6803-0301  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月17日 配当支払開始予定日 2021年6月18日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月17日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	10,562	△36.2	1,162	△42.9	1,258	△38.0	617	△49.7
2020年3月期	16,561	△4.7	2,036	△15.9	2,027	△16.2	1,225	△14.3
(注) 包括利益	2021年3月期		678百万円(△38.9%)		2020年3月期		1,111百万円(△23.9%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	45.32	—	1.5	2.6	11.0
2020年3月期	87.32	—	3.0	4.1	12.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	46,736	40,147	85.9	3,009.62
2020年3月期	48,511	40,612	83.7	2,919.10

(参考) 自己資本 2021年3月期 40,147百万円 2020年3月期 40,612百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	514	△5,087	△1,223	12,452
2020年3月期	784	3,351	△1,049	18,249

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	486	40.1	1.2
2021年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	466	77.2	1.2
2022年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00		—	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	10,000	△5.3	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	14,263,000株	2020年3月期	14,263,000株
2021年3月期	923,212株	2020年3月期	350,151株
2021年3月期	13,617,689株	2020年3月期	14,037,190株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、2度にわたる緊急事態宣言を発令することとなり、経済活動が大幅に抑制される事態となりました。足元では再び感染拡大傾向にあり、収束時期の見通しが立っておらず、経済の先行きにつきましても不透明な状況が続くと想定しております。

そうした中、当社グループの主要な取引先であるパチンコホールにおいては、1度目の緊急事態宣言に基づく都道府県からの休業要請により全国的に休業実施したものの、解除後は、感染防止策を徹底しながら営業を行い、収益状況も回復に向かいました。しかし、規則改正による旧規則機の撤去問題や、感染再拡大など、依然として先行きに対する不透明感はぬぐえず、設備投資を抑制する傾向が継続しております。

こうした環境下で、当社グループでは、加盟店シェアの維持・向上を図るために、販売施策の見直しを行い、旧機器のリプレイスや合理化のための各台計数化提案をはじめ、コロナ対策商品を含めた新商材の販売など、お客様が個々に抱える課題に対しきめ細やかな営業活動を行いました。先行き不安から設備投資意欲が低いことに加え、市場規模の縮小も重なり、機器売上やシステム使用料は前年比で大きく下回る結果となりました。

当連結会計年度における売上高は10,562百万円（前年同期比36.2%減）、営業利益は1,162百万円（前年同期比42.9%減）、経常利益は1,258百万円（前年同期比38.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は617百万円（前年同期比49.7%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は以下のとおりとなっております。

#### (総資産)

当連結会計年度末の総資産は46,736百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,774百万円減少いたしました。

これは主に、自己株式の取得667百万円及び株主配当金に係る476百万円による現金及び預金の支出と受取手形及び売掛金495百万円の減少によるものであります。現金及び預金が5,796百万円減少しておりますが、この内4,598百万円は有価証券・投資有価証券に振り替わっております。

#### (負債)

負債合計は6,588百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,309百万円減少いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金が653百万円、カード未精算勘定が203百万円、長期預り金が172百万円、固定リース債務が148百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は40,147百万円となり、前連結会計年度末と比較し465百万円減少いたしました。

これは主に、利益剰余金140百万円増加した一方で、控除要因となる自己株式667百万円の増加によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比べて5,796百万円減少し12,452百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは514百万円の増加（前年同期比270百万円の減少）となりました。主な増減要因は、税金等調整前当期純利益1,208百万円及び減価償却費689百万円の増加、仕入債務の減少額641百万円及びたな卸資産の増加額563百万円の減少であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5,087百万円の減少（前年同期比8,439百万円の減少）となりました。主な増減要因は、有価証券の償還による収入90,100百万円の増加、有価証券の取得による支出92,099百万円及び投資有価証券の取得による支出2,600百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,223百万円の減少（前年同期比173百万円の減少）となりました。主な減少要因は配当金の支払額476百万円及び自己株式の取得による支出667百万円であります。

#### (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に歯止めがきかず、一部地域に三度目の緊急事態宣言が発令されるなど、ワクチンの普及が進むまでは全国的に一進一退の動きが予想され、経済活動の完全な再開には時間がかかると想定しております。

遊技業界においても、パチンコホールの換気能力は建築基準法以上でありクラスターの起こる可能性は低く、感染防止対策を徹底して行っていることが認知されておりますが、緊急事態宣言時に何らかの自粛要請を受ける可能性や、外出自粛による稼働低下がホール収益に与える影響は非常に大きく、業界的に不透明な状況が当面続くと考えられます。

当社グループでは引き続き、加盟店シェアの維持向上を図るため、状況に応じた営業施策を打ち出すとともに、競争力のある商品企画をはじめ、新商品の開発への取り組みを進めて参りますが、ホールの設備投資に対する慎重な姿勢は今期も続く予想され、感染症拡大に対する政府等の施策の内容によっては当社グループの収益にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

以上により今期の連結業績の見通しにつきましては、売上高10,000百万円（前年同期比562百万円減）、営業利益0百万円（前年同期比1,162百万円減）、経常利益0百万円（前年同期比1,258百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益0円（前年同期比617百万円減）を見込んでおります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。現在、当社グループの事業展開は日本国内に限定されており、また、海外市場での資金調達を予定していないことなどから、現時点においては、日本基準以外の会計基準の選択には迫られていないものと判断しており、当面は日本基準を適用する予定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,249	7,452
受取手形及び売掛金	1,356	861
営業未収入金	412	392
リース投資資産	791	545
有価証券	16,400	18,399
供託金	3,996	4,090
商品及び製品	1,603	2,092
原材料及び貯蔵品	140	204
その他	489	189
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	38,439	34,228
固定資産		
有形固定資産		
その他	4,119	3,919
減価償却累計額	△3,776	△3,552
その他(純額)	343	367
有形固定資産合計	343	367
無形固定資産		
ソフトウェア	2,304	2,266
その他	69	105
無形固定資産合計	2,374	2,372
投資その他の資産		
投資有価証券	6,363	8,975
繰延税金資産	488	330
その他	552	505
貸倒引当金	△51	△42
投資その他の資産合計	7,353	9,768
固定資産合計	10,071	12,507
資産合計	48,511	46,736

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,306	652
営業未払金	6	5
リース債務	397	275
賞与引当金	145	157
株主優待引当金	35	37
未払法人税等	385	308
その他	2,653	2,514
流動負債合計	4,929	3,952
固定負債		
リース債務	499	350
役員退職慰労引当金	89	55
退職給付に係る負債	393	417
その他	1,985	1,813
固定負債合計	2,968	2,636
負債合計	7,898	6,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,122	5,122
利益剰余金	30,512	30,652
自己株式	△458	△1,125
株主資本合計	40,676	40,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	△1
その他の包括利益累計額合計	△63	△1
純資産合計	40,612	40,147
負債純資産合計	48,511	46,736

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	16,561	10,562
売上原価	9,625	5,093
売上総利益	6,936	5,469
販売費及び一般管理費	4,899	4,307
営業利益	2,036	1,162
営業外収益		
有価証券売却益	8	—
受取利息	12	60
受取配当金	17	15
助成金収入	—	14
貸与資産修繕収入	6	5
その他	7	5
営業外収益合計	51	102
営業外費用		
支払利息	7	6
支払保証料	26	—
中途解約違約金	25	—
その他	0	0
営業外費用合計	60	6
経常利益	2,027	1,258
特別損失		
投資有価証券評価損	—	50
特別損失合計	—	50
税金等調整前当期純利益	2,027	1,208
法人税、住民税及び事業税	845	433
法人税等調整額	△43	157
法人税等合計	802	590
当期純利益	1,225	617
親会社株主に帰属する当期純利益	1,225	617

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,225	617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	61
その他の包括利益合計	△114	61
包括利益	1,111	678
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,111	678

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	5,500	5,122	29,779	△0	40,402	51	51	40,453
当期変動額								
剰余金の配当			△493		△493			△493
自己株式の取得				△458	△458			△458
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,225		1,225			1,225
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△114	△114	△114
当期変動額合計	—	—	732	△458	274	△114	△114	159
当期末残高	5,500	5,122	30,512	△458	40,676	△63	△63	40,612

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	5,500	5,122	30,512	△458	40,676	△63	△63	40,612
当期変動額								
剰余金の配当			△476		△476			△476
自己株式の取得				△667	△667			△667
親会社株主に帰属する 当期純利益			617		617			617
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						61	61	61
当期変動額合計	—	—	140	△667	△526	61	61	△465
当期末残高	5,500	5,122	30,652	△1,125	40,149	△1	△1	40,147

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,027	1,208
減価償却費	683	689
長期前払費用償却額	143	59
差入保証金償却額	1	1
固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	△4
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	1	2
その他の引当金の増減額 (△は減少)	7	△21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	23
受取利息及び受取配当金	△29	△75
支払利息	36	6
売上債権の増減額 (△は増加)	765	476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△388	△563
仕入債務の増減額 (△は減少)	△266	△641
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	50
カード未精算勘定の増減額 (△は減少)	△168	△203
未収入金の増減額 (△は増加)	△46	△15
長期未収入金の増減額 (△は増加)	△171	42
未払金の増減額 (△は減少)	△587	△122
長期預り金の増減額 (△は減少)	△155	△172
預り金の増減額 (△は減少)	△0	7
その他	△54	△40
小計	1,793	706
利息及び配当金の受取額	268	58
利息の支払額	△29	△7
法人税等の支払額	△1,383	△522
法人税等の還付額	135	279
営業活動によるキャッシュ・フロー	784	514
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△96,800	△92,099
有価証券の売却による収入	2,008	—
有価証券の償還による収入	95,300	90,100
供託金の預入による支出	△6,162	△93
供託金の返還による収入	10,859	—
有形固定資産の取得による支出	△132	△99
無形固定資産の取得による支出	△693	△300
投資有価証券の取得による支出	△6,000	△2,600
投資有価証券の償還による収入	5,000	—
差入保証金の差入による支出	△33	△0
差入保証金の回収による収入	2	1
長期前払費用の取得による支出	—	2
その他	3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,351	△5,087

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△458	△667
配当金の支払額	△493	△476
ファイナンス・リース債務の返済 による支出	△98	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,049	△1,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,085	△5,796
現金及び現金同等物の期首残高	15,163	18,249
現金及び現金同等物の期末残高	18,249	12,452

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、パチンコプリペイドカードシステム関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,009.62円
1株当たり当期純利益金額	45.32円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	617
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	617
普通株式の期中平均株式数(株)	13,617,689

## (重要な後発事象)

当社は2021年2月10日開催の取締役会決議に基づき、2021年4月1日付で連結子会社である日本ゲームカード株式会社を吸収合併存続会社、株式会社ジョイコシステムズを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」という。）を行いました。

## 1. 本合併の目的

遊技業界における規制環境や市場環境の変化、新型コロナウイルス感染症の影響から当社及び当社グループを巡る経営環境は急激に変化しております。この変化に適切かつ迅速に対応し、当社グループの持続的な成長を達成するためには、当社グループが有する経営資源を統合し、運営体制の効率化・最適化による経営基盤の強化を図ることが必要であると判断し、グループ内会社組織の再編を行いました。

## 2. 本合併の要旨

## (1) 本合併の日程

本合併に係る取締役会決議（当社）	2021年2月10日
合併契約書の締結日（合併当事会社2社）	2021年2月22日
合併期日（効力発生日）	2021年4月1日

## (2) 合併の方式

当社の連結子会社である日本ゲームカード株式会社を吸収合併存続会社として、株式会社ジョイコシステムズを吸収合併消滅会社として合併を行いました。

## (3) 本合併に係る割当ての内容

本合併に際して、日本ゲームカード株式会社から株式会社ジョイコシステムズの株主に対して、株式その他の金銭等の割当ては行いません。

## (4) 吸収合併消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

株式会社ジョイコシステムズは、新株予約権及び新株予約権付社債の発行はしておりません。

## 3. 本合併の当事者の概要（2021年3月31日現在）

(1) 名称	日本ゲームカード株式会社 (存続会社) (単体)	株式会社ジョイコシステムズ (消滅会社) (単体)
(2) 所在地	東京都台東区上野一丁目1番10号	東京都台東区上野二丁目14番22号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 蒔田穂高	代表取締役 柳漢呉
(4) 主な事業内容	パチンコプリペイドカードシステム 関連	パチンコプリペイドカードシステム 関連
(5) 資本金	55億円	28億5千万円
(6) 設立年月日	1989年8月25日	2001年3月13日
(7) 発行済株式数	114,130株	57,000株
(8) 決算期	3月	3月
(9) 大株主及び 持ち株比率	株式会社ゲームカード・ジョイコ ホールディングス 100.00%	株式会社ゲームカード・ジョイコ ホールディングス 100.00%

## 4. 本合併後の吸収合併存続会社の状況

本合併後の日本ゲームカード株式会社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

5. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。